

サウンドフェスタ2018

SOUND FESTA 2018 24th

本年度で24回目となった関西最大級の音響映像機器のイベント「サウンドフェスタ2018」が大阪で開催された。

機器展示会は音響・映像メーカー約70社、200ブランド以上を、「見て・聞いて・触れて」体験が出来る大展示会であるが、メーカーによる各種セミナーを開催し、音響測定やネットワークオーディオなどの近年の音響システムに不可欠な知識を様々な視点から解説。また、ヘッドホン展示試聴、大型スピーカー試聴会、VR音響関連ツール展示試聴、展示即売会なども行われた。

■会期：6月27日(水)・28日(木) 10:00～18:00

■場所：グランキューブ大阪 (大阪国際会議場) 大阪市北区中之島5丁目3番51号

■主催・運営：サウンドフェスタ運営事務局

■協賛：大阪オーディオフェア実行委員会／(一社)日本舞台音響家協会／出展関係各社



会場となったグランキューブ大阪 (大阪国際会議場) 外観

*****以下、各社の出展製品***** (写真・文とも公式 Web サイトより)

ヤマハ

ブースでは「YAMAHA」「NEXO」「Steinberg」の3ブランドを紹介。デジタルミキシングシステム「RIVAGE PM7」を始め、新商品フラッグシップパワードスピーカー「DZRシリーズ」「DXS XLFシリーズ」、ラインアレイスピーカー「VXLシリーズ」など、注目の機器を展示。(写真右上)

大型スピーカー試聴会では、NEXOブランド「GEO M10」システム紹介。また、ヘッドホン展示試聴ブースでは、スタジオモニターヘッドホン「HPH-MT」シリーズの試聴を行った。また、毎回好評のセミナールームでは、業務に役立つセミナーコンテンツを多数用意した。

さらに、VR音響関連ツール展示視聴エリアにて、「ViReal Mic」と「ViReal for Headphones」を組み合わせたデモや「ViReal for Headphones VST」プラグインのデモを展示した。

なお、その他の出展製品では I/O ラック「Rシリーズ」、スピーカーシステム「CZRシリーズ」「CXS XLFシリーズ」、ポータブルPAシステム「STAGEPAS 600BT/400BT」や、NEXOブランドの2wayフルレンジ垂直アレイモジュール「GEO M1012」、サブ

ウーファー「MSUB15」、サブウーファー「LS18」、パワードデジタルTDコントローラー「NXAMP4x2 mk2」などである。

■立体音響総合技術 ViReal™ について：ViReal™ はヤマハが提案する立体音響の総合ソリューション。音源の存在感や音場の臨場感をそのままに収録する ViReal Mic、音空間をフレキシブルに編集する ViReal Tools、お手持ちのヘッドホンやスピーカーで実空間と間違えるようなリアルな音空間を再現するソフトウェア技術 ViReal for Headphones および ViReal for Speakers から構成され、VR/AR コンテンツ制作現場からエンドユーザまで幅広いお客様に圧倒的リアリティを持った立体音響を提供する。

■ワンポイント立体音収録マイク「ViReal Mic」：音の空間感を再現する立体音響は、従来の録音方法とは異なり、方向別の音を高品質で収録する必要がある。ViReal Mic は、独自配置の64個のマイクを使用して音の到来方向の情報も収録することが可能。高解像度の収録により、その場の空気感までも再現する。また、Dante ネットワークを利用し、LAN ケーブル1本で録音することができる。マイクも



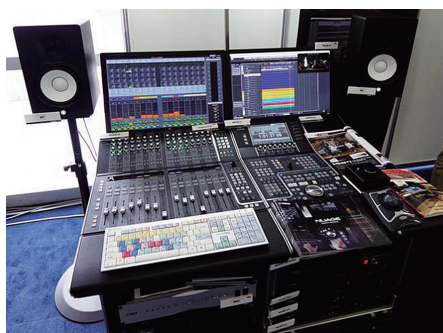
ケーブルも1本のみ。コンパクトな録音環境で、設置時間もわずかな時間にて可能。

■ヘッドホン用立体音響処理技術「ViReal for Headphones」：この技術は任意の位置の音源から受聴者の両耳元までの音響特性(頭部音響伝達関数：HRTF)をデジタル信号処理で再現することによって音の立体感を再現する。通常耳の形状には個人差があるため、人によってその効果は様々である。ヤマハでは、多くの人間の耳・頭部の形状を収集、解析、合成することにより、独自の HRTF を開発。どんな人でも、どんなヘッドホンでも、最大限の立体音響効果が得られる。2000方向以上の分解能でなめらかな音源移動を実現し、未だかつてない圧倒的な高品質サラウンド音響を提供する。

■NUAGE (写真左)：Yamaha と Steinberg の綿密なコラボレーションから生まれた Nuage は、オーディオポストプロダクションの新たな扉を開くシステムソリューション。Nuendo の強力なポストプロダクション機能をエンジニアの思いのままに操れる操作性、そして卓越したサウンドクオリティとプロセッシング機能。スタジオ規模に合わせたコンポーネント拡張も柔軟に行える。



デジタルミキシングシステム「RIVAGE PM7」



オタリテック

IP ベースのリモート制作用オールインワン・ソリューションLAWO [V_remote4]をはじめとして、昨年発表された最新ワイヤレス・インカム・シリーズ RIEDEL [Bolero]、英国プロフェッショナル・モニターの老舗ブランド PMC [twotwo]を中心に展示紹介。また、オタリ Lightwinder Broadcasting シリーズの新製品を参考出品した。

■LAWO[V_remote4]: IP ベースのリモート制作用オールインワン・ソリューションで、映像/音声信号伝送と WAN ベースのリモート制作のプロセッシング要求に応えるワンボックス・ソリューションとなるように設計され、Video-over-IP コーディングに始まり様々なモニタリング/プロセッシング・ツールにいたるあらゆるものを備えている。

貴重なラックスペースとセットアップ時間と制作コストを節約しつつ放送の柔軟性を高めるツールを提供することを目的として設計されている。

バーチャル・ケーブリング能力を備える [V_remote4]は IP インフラの利点とコスト削減をすぐにもたらし、比肩するものがない高度の柔軟性と拡張性を実現している。

今日の IP ネットワーク・テクノロジーの性能と成熟を手にした Video-over-IP と Audio-over-IP と Control-over-IP は、様々な用途で採用され始めている。放送制作の次の大きなステップの1つと見なされるようになってリモート・ライブ制作では、IP は基本的な要求事項になりつつある。信頼性の高い低遅延かつ高画質の映像を会場からスタジオに手頃なコストで送り返せることが必要とされる。LAWO [V_remote4]は今日の IP ベースのリモート放送制作というビジョンを実現させる理想的なツールで、双方向の4チャンネル Video-over-IP インターフェイスと4系統のローカル SDI 入出力、ならびに WAN または LAN を介して映像/音声を放送制作用に収集する際に一般的に必要なあらゆるプロセッシング・ツールを1つにまとめた製品である。



LAWO [V_remote4]

■最新ワイヤレス・インカム・ソリューション RIEDEL [Bolero]: ライセンスフリーの 1.9 GHz 帯を利用する拡張可能な DECT ベースのフルローミング・インカム・システム。RIEDEL [Artist] デジタル・マトリクス・インカム・プラットフォームと完全に一体化される [Bolero]は、優れたワイヤレス・ベルトパックとしてまたワイヤレス・キーパネルとして、そして業界初でウォークトーカー無線機としての3通りの使い方を実現できる豊富な機能と接続能力を備えている。AES67 規格準拠の IP ネットワーク上で動作し、分散型アンテナが AES67 スイッチに次いで AES67 クラウド・カード搭載の [Artist] フレームにつながって、シームレスなローミング能力を持つ一体型の1対1インカム・システムとなる。システムにとってベルトパックは RIEDEL 製のパネルのように見えるがそれはワイヤレスであり、柔軟にシステムを構築することが可能になっている。

明瞭度の高い [Bolero]のボイス・コーデックは優れた了解度を実現し、RF スペクトルをさらに有効利用できるようにして、他の DECT ベースのシステムと同じ音声帯域幅でアンテナが2倍のベルトパックを扱えるようにした。このコーデックは優れた遅延特性を持つと同時に処理パワーを極めて効率的に利用し、ベルトパック・バッテリーの持ち長くし、DSP の処理パワーを他の機能用にセーブすることができる。

■オタリ [LWB-24/LWB-72]: 「あらゆる現場の要求を追究し、LWB は根本から進化する」をコンセプトとして、600 台以上の国内導入実績を持つ光ファイバーシステム LWB に待望の次世代機が登場した。

- ・スタジアムや広大なフィールドをカバーする24台接続/2048チャンネル伝送
- ・効率性を高めるモジュール単位でのサンプリング周波数設定
- ・マルチドロップ・ルーティング可能な内蔵4チャンネル HD-SDI ビデオ・モジュール
- ・マトリクス・ミキサー/シグナル・ディレ



インカムソリューション RIEDEL [Bolero]



プロ用マイクロフォン Ehrlund (アーランド)をPR
イ機能

- ・細部まで利便性を追求した仕様互換性/新モジュール/レトロフィット・キット

■トライアングル・カプセル・メンブレン・コンデンサー・マイクロフォン Ehrlund [EHR-M]:

北欧スウェーデンで誕生したアーランドは特許技術トライアングル・カプセル・メンブレン (三角形振動板) を用いた世界で唯一のハイエンド・マイクロフォン・ブランド。



ラウンドのメンブレンではなしえない振動収束の短さで、他に類をみない低域のスピード感とシャープな音質のオリジナリティ溢れるサウンドを実現している。

- ・ラウンド型メンブレンと較べて圧倒的な共振の少なさを実現したトライアングル形状のメンブレンで音声をより正確にキャプチャー
- ・ステレオ・マッチングが不要な一貫した位相カーブを持つ「リニア・フェイズ」プリアンプ
- ・全体的に濁りの無い極めてクリアでシャープな音質とスピーディーな低音域のレスポンス
- ・高い感度を保ちながら極めて低いセルフノイズを実現
- ・アルミニウム製の軽量ボディを採用し、ヴォーカル、ドラム、ギター、ピアノ、クラシック録音などスタジオ・レコーディングをはじめ、ライブ・ステージ、ヴォーカル・マイクなど様々なアプリケーションに適用



オタリ Lightwinder [LWB-24/LWB-72]

ATV

ATV 株式会社は、業務用映像機器、及び電子楽器を開発・製造する国内メーカーです。両分野において豊富な経験を持つスタッフで構成されており、技術力とクオリティの高い製品開発をしている。

■HDMI 2.0 2ch 1M/E AV Mixer [A-PRO-1]
4K (UHD) 60p 対応のミニマムAV ミキサー。HDMI 2 入力2 出力の最小構成で4Kの収録や合成をより軽快に。合成各種、静止画 STILL、4K/HD 間のUP & DOWN コンバート、フレームレート変換、リモート制御、複数台連動、信号断による自動切替、等々。システムの構築や信号断時のバックアップ用途にも。(近日発売)



■ 4CH HD LIVE AV MIXER [A-PRO-4]
2K/60P までを10Bit/4:4:4 処理、マルチフォーマット対応、外部同期対応。最新Ver. で、DSK 機能、PinP、9 画面マルチビュー、静止画キャプチャー機能を搭載。

■8ch MULTI-FORMAT VIDEO SWITCHER [MS-8]:
内蔵スケーラーにより、すべてのビジュアルを



スマートにコントロール。最新Ver. で、ディゾルブ/ワイプ切替、マルチビューやPinP 機能を搭載。

■Frame Synchronizer & Frame rate Converter [AV-5S/AV-3 SERIES]:
SDI とHDMI を繋ぐハイスpekコンバーター。フレームバッファ機能、各種ソースに自動対応、外部シンクロ、音声入出力等、充実の機能。

タックシステム

■iZotope「Spire Studio」を関西地区初出展。「Spire Studio」は、「いつでもどこでもワンクリックでプロ級のレコーディングを」、ミュージシャン向けの新しい音楽製作のツール。

ハイ・クオリティな8トラックまでの多重録音が可能。Wifi 接続でiPhone やiPad と接続し、録音した素材をシェア、モバイルデバイス



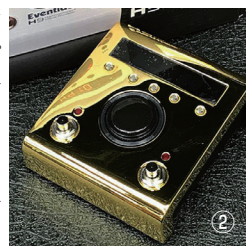
上で簡単にミックスダウンした音楽をソーシャルメディアにアップロードできるなど、現代のニーズにマッチしたツールとして多くのミュージシャンを生み出す可能性を秘めたデバイス。(写真①)

■Eventideからは「空間系マルチエフェクター」H9 Maxを展示。

空間系、モジュレーション・エフェクトの雄、Eventide社の「全部入り」ペダルで、ステージ上でダイナミクス系以外に関する音作りの悩みをすべて解消してくれるという製品。「何が出来るの?」と問われれば「何でも出来ます」と答えるしかないペダル。「地上最強の空間系ペダルここに誕生」というキャッチ・コピーとともにリリースされたH9シリーズうち、最上位機種モデルのH9 Maxを中心に紹介。49 個のエフェクトアルゴリズムと99 個のプ



リセットがプリロードされているモデル。H9 Control アプリで500 種類以上のプリセットを利用可能。ブースではギターリストがデモンストレーションを行いアピールした。



エレクトリ

■英国スタジオモニタースピーカー ATC [SMC20PSL Pro/P1 Pro](写真①)



・Studio Technologies [Dual インカムパーティーライン to Dante インターフェース: Model45DC (ClearCom)](写真②)/「ダンテマスタークロックModel5401」(写真③)

*スタジオテクノロジーは1978年創立以来、常にユーザーの立場に立った製品を開発し、その

機能性と信頼性の高さで放送局、ポストプロダクション、レコーディングスタジオを中心に数多くの実績を持つ、数少ないプロオーディオプロダクト専門メーカー。

■Radial 社製2ch アクティブDI (写真④)
「J48 Stereo」/ Jensen トランス搭載ステレオパッシブDI 「JDI Stereo」/ パッシブDI 「ProDI」/ ステレオパッシブDI 「ProD2」/ ピエゾPU 用DI 「PZ-DI」/ USB 接続ステレオDI 「USB-Pro」/ ステレオtoモノ パッシブミキサー 「MIX2:1」/ アッテネーターモ



ニターコントローラ「SAT-2」/ ステレオバックキングスイッチャー「BackTrack」/ Dante 対応2ch トランスミッタ「Dan-TX」/ Dante 対応2ch オーディオ・レシーバ「Dan-RX」/ PC/ タブレット用DI 「SB-5」/ SW-8
・アコースティック吸音パネルセット PRIMACOUSTIC [London Loom Kit]